



芦安中学校だより

第 10号

校長 石原敬彦
2019. 2. 22

文部科学省と海外視察団の訪問を受けて、芦安小とともにユネスコスクールとしての取り組みを紹介しました。

1月29日に、文部科学省・市役所の方々と一緒に韓国、東ティモール、ミャンマー、ベトナム、タイの5カ国より、それぞれの国でユネスコスクールのお仕事を中心となって進められている7名の方々が芦安小中学校を訪問されました。小6と中2が分担して芦安小中学校のユネスコスクールとしてのこれまでの取り組みについてスライド写真を使いながら丁寧に説明をしました。山梨県の学校教育指導重点の一つに「グローバルに活躍する人材の育成」があり、その中で「郷土の良さを自信を持って発信できる児童生徒の育成」が求められています。この日の芦安小中学生はまさにそうであったと思います。自分たちの地域と活動の様子を相手にきちんと伝えようと真摯に取り組む姿が光りました。視察団の皆様も南アルプス市での二日間の滞在で芦安小中学校の児童生徒の発表が最も心に残ったと言ってくれたとのこと。児童生徒の大きな成長を見られたことに加えて、地域の大きな支えによって他校にないさまざまな豊かな活動が行えることを改めて認識し、感謝する機会となりました。



海外視察団の皆様・・・会は英語による通訳で進行了ました。



芦安小中学生が、スライドを使って丁寧に活動を紹介しました。

入試激励集会(1/28) 新入生・保護者説明会(2/13)を行いました。

1月28日、生徒会が主催して3年生のための入試激励集会が開かれました。1・2年生が心を込めて手作りした「合格祈願お守り」とメッセージが3年生の一人ひとりに贈られました。2月13日には、新入生・保護者説明会が行われ、後半は生徒会が主催して1・2年生が中学校生活について説明し、歓迎の気持ちを込めて合唱をしました。中学校生活についての説明はスライド写真を使いながら英語で行いました。私は説明している生徒たちから会場の中で最も遠い場所で聴いていましたが、英語で話された内容を十分に理解することができました。相手に伝わるようにと一人ひとりが大きな声で、また丁寧な発音で話そうとしていることがひしひしと伝わってきました。あわせて素晴らしいのは、全員が原稿を見ないで、英語で話していたことでした。これは、事前に十分な取り組みをしなければ出来ないことであり、何よりも新入生への思いがけないと出来なかったことだと思っています。その後の合唱「校歌」「北岳の歌」「糸」も心のこもったものでした。入試激励集会も同様でしたが、心を込めて事を成すことの大切さ・素晴らしさを改めて感じました。説明会の後は、理科の体験授業と部活動見学。新入生の入学が待ち遠しいです。



り物。合唱「糸」。表情にも気持ちが表れています。



説明会後の6年生の体験授業。理科。

正式に小中一貫教育校となるまで一カ月あまりとなりました。保護者・地域への説明会を実施します。

芦安小中学校は、今年4月より正式に小中一貫教育校となります。一貫教育にかかわる説明会を次のとおり開催いたします。次ページは取組(案)です。

日時：平成31年3月4日(月)午後3時30分より
場所：芦安小学校 多目的ホール



芦安小中一貫校の取組(案)



～芦安小中一貫共通の5つの取組～

1 9年間のグランドデザインを基に教育活動を展開します

めざす児童生徒像

- 夢と希望をもち、主体的に学び、行動する児童生徒
- 確かな学力・しなやかな心・健やかな体の児童生徒
- 相互依存によって自立し、新しい価値を創造できる児童生徒
- 地域に学び、地域に貢献できる児童生徒

2 「子どもと子どもをつなぐ取組」をすすめます

- ・縦割り給食 ・授業における学び合い
- ・学習サポート・学習会
- ・読み聞かせ
- ・イングリッシュゲーム
- ・芦安ふれあい運動会
- ・和太鼓の演奏

3 「職員と職員をつなぐ取組」をすすめます

- ・合同校内研究会（「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の推進）
- ・乗り入れ授業
- ・小中連携会議/小中連絡会

4 「学校と地域をつなぐ取組」を推進します

- ・「学校便り」による情報発信
- ・自然体験活動（学校林整備作業、登山）
- ・小中連携PTA活動
- ・芦安文化祭
- ・やきいも集会

5 9年間のカリキュラムを作成します

- ・9年間の教育カリキュラム
- ・家庭学習の手引き、授業づくりの視点「あしやすスタンダード」



